

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

姫路・勝原ホーム短期入所生活介護

令和4年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>長期、定期利用に関わらず、利用者、一人ひとりにとって、落ち着いた「暮らしの場」となるように、感染症対策をしながらより良い生活環境作りに努める。</p>
<p>理 由</p>	<p>コロナ禍から制限の多い生活が続いている中、利用時には、一人ひとりに合った生活スタイルを尊重し、心身ともに健やかな暮らしを図りたいため。</p> <p>単なる寝泊りする場所ではなく、生活の場としての環境を整え、一人ひとりの状態に応じた生活支援をすすめたいため。</p> <p>また、自宅と同じような環境には至らないものの、生活歴や住環境に関する情報を収集し、可能な範囲で自宅に近い、環境での生活に努めたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者本人に加え、家族や担当介護支援専門員から生活歴や生活様式、生活習慣、住環境などの情報を収集する。 2. 収集した情報をもとに落ち着いた暮らしの場となるように看護職員も含め、担当職員間で話し合い、情報共有と共通認識を図る。 3. 話し合った内容を個々の利用者に提案し、合意形成のもと、生活支援を行う。意思疎通の難しい利用者は、家族に提案し、支援をすすめる。 4. 定期的に行っている生活支援が、落ち着いた暮らしの場になっているか、利用者や家族の意向も踏まえて、検証する。 5. 不十分な部分は、担当職員間で対応を話し合い、改善を繰り返していくことで、より良い生活環境を図る。

令和4年度 事業報告

事業報告	<p>利用者の状態把握に関して、送迎時に自宅での様子の聞き取りや連絡帳の活用に加え、意見交換を行った。その中で日常生活での困りごとに限らず、運動の機会を増やしてほしいとの希望があり、事業所内で日常生活に活かせる運動を検討し、可能な範囲で行った。居宅介護支援事業所の担当介護支援専門員とも感染症予防対策を講じつつ、連携を図り、利用時の様子などについて意見交換を行った。</p> <p>余暇活動に関しては、感染症対策に配慮し、四季を感じられる創作活動を企画し、できあがった作品はやながせ文化祭に出展した。今回はコロナ禍から見学には至らなかったが、動画や写真などで鑑賞したことで、創作意欲はさらに高まり、いきがい活動につながっている。また、個別でも取り組める塗り絵、脳トレーニングプリントを継続して行うプログラムを準備し、無理なくすすめた。併設特養とも連携を図り、納涼大会やクリスマス会の実施も行った。</p>
事業運営総括	<p>感染症予防対策から受け入れ制限を行ったことで、令和4年度は年間平均稼働率が77.6%と令和3年度をさらに4.3%下回った。</p> <p>施設入居や入院等によるキャンセルが相次いだことも減少の要因としてあげられる。引き続き利用者確保に向け、併設特養の介護支援専門員とも連携を図り、特養申込者に長期的な利用を提案するなどの取り組みにも努めていきたい。</p> <p>令和5年5月より利用定員が18床から10床に転換されることを踏まえ、可能な範囲で個別化を図り、継続的に利用ができるよう取り組んでいきたい。</p> <p>安定した利用を図り、稼働率を維持するため、引き続き居宅介護支援事業所の介護支援専門員と情報を共有し、受け入れや支援方法を試行錯誤していきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.9》

令和5年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	0	0%
要介護1	8	19%
要介護2	9	21%
要介護3	8	19%
要介護4	13	31%
要介護5	4	10%
合計	42	100%

月間利用実績（人数）

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
要支援2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護1	9	10	8	10	7	8	7	11	10	7	9	8	104
要介護2	10	9	9	9	15	12	15	11	10	8	8	9	125
要介護3	8	7	9	9	7	6	9	9	9	7	8	8	96
要介護4	3	6	6	6	5	7	7	7	7	7	10	13	84
要介護5	1	2	2	4	5	4	4	6	4	4	4	4	44
合計	31	34	34	39	39	37	43	45	40	33	40	42	457

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 77.6%》

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	5	0	13
要支援2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護1	77	78	86	89	53	57	66	84	99	67	106	102	964
要介護2	69	59	63	61	96	76	94	85	75	56	86	90	910
要介護3	121	121	137	115	76	89	107	80	87	78	59	60	1,130
要介護4	62	81	81	58	79	94	120	110	104	96	92	135	1,112
要介護5	30	35	41	92	103	84	87	117	102	94	87	98	970
合計	359	374	408	417	407	400	475	483	467	391	435	485	5,101

曜日別延べ利用実績

令和4年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	744	763	733	746	742	697	676	5,101
割合	15%	15%	14%	15%	15%	14%	13%	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

1週当り平均利用人員

令和4年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	14.5	14.9	14.3	14.6	14.5	13.6	13.2	99.60	14.20
割合	15%	15%	14%	15%	15%	14%	13%	100%	

(四捨五入による%の誤差あり)

年齢別構成状況

令和5年3月31日 現在

	85歳以下	65歳以上 から	70歳以上 から	75歳以上 から	80歳以上 から	85歳以上 から	90歳以上	合計
		70歳未満	75歳未満	80歳未満	85歳未満	90歳未満		
男	0	0	2	0	4	4	2	12
女	0	0	2	4	5	9	10	30
全体	0	0	4	4	9	13	12	42

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月		計算・脳トレーニング 外出ドライブ・数字パズル	連想ゲーム ビンゴゲーム 口腔体操
5月		ちぎり絵・漢字トレーニング ・点つなぎ	都道府県ゲーム 口腔体操 アロママッサージ
6月		塗り絵・脳トレーニング	連想ゲーム ビンゴゲーム 口腔体操
7月	七夕の飾りつけ	漢字トレーニング ちぎり絵・数字パズル	連想ゲーム 口腔体操 アロママッサージ
8月	納涼大会	ことわざクイズ・飾り作り ちぎり絵・パズル	口腔体操 連想ゲーム
9月		カルタ・漢字トレーニング 塗り絵・点つなぎ	連想ゲーム 口腔体操 アロママッサージ
10月		脳トレーニング 外出ドライブ・ちぎり絵	ボールゲーム 口腔体操
11月		漢字トレーニング・塗り絵 神経衰弱・カルタ	連想ゲーム 点取りゲーム 口腔体操
12月	クリスマス会	飾り作り・脳トレーニング 塗り絵	ビンゴゲーム アロママッサージ 口腔体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
1月	正月飾りづくり	脳トレーニング 飾り作り・折り紙	福笑いゲーム カルタ アロママッサージ 口腔体操
2月	節分豆まき	塗り絵・数字パズル カルタ・ことわざクイズ	連想ゲーム ボールゲーム 口腔体操
3月	施設内レクリエーション	数字パズル 飾り作り・脳トレーニング	ビンゴゲーム 連想ゲーム アロママッサージ 口腔体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会	飾り作り・塗り絵・パズル	足踏み・音楽による体操 リハビリ体操・口腔体操 連想ゲーム

苦情対応

苦情対応なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和4年 12月19日	「転倒による左大腿骨骨折」 トイレより物音があったため、確認すると、左側臥位で転倒している姿を発見する。病院を受診し、検査の結果、左大腿骨骨折と診断される。	①初回利用時には職員同士が連携して、状態把握に努め、気になる点など互いに話し合うことで情報共有を行う。 ②認知症から思い・感じるままに生活行為を行うことを踏まえ、その時々的心神状態に応じた見守りや言葉かけを行う。 ③他者への支援に当たる場合は、言葉をかけ、注意喚起するなど、本人の状態を確認してから行う。
令和5年 1月2日	「転倒による左大腿骨頸部骨折」 起床後、トイレ前廊下で転倒する。病院を受診し、検査の結果、左大腿骨頸部骨折と診断される。	①職員同士が連携して、普段から状態把握に努め、変化があった場合など互いに話し合うことで情報共有を行う。 ②認知症から思い・感じるままに生活行為を行うことを踏まえ、その時々的心神状態に応じた見守りや言葉かけを行う。 ③定時の入室時には、睡眠状態などの確認を行い、起床時に躓かないように環境整備に努める。 ④センサーマットを利用し、他者への支援に当たる場合は、入室し、本人の状態を確認してから行う。

※ 職員間の内部研修、外部研修、避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。